

「あきた教育新時代創成プログラム」審議会の設置に関する意見書

「あきた教育新時代創成プログラム」策定の背景には、現在の秋田県が直面している著しい少子化・財政難の問題があることは理解するが、プログラムは、財政論を優先させて教育行政の効率化を追求する考え方が前面に出ており、その考え方には疑問を抱かざるを得ない。

また、12月下旬にプログラムを正式決定するという報道もあり、本年6月のプログラム素案の公表から、わずか半年余りの時間で県教育の将来像の大枠を決めてしまうことには拙速の感が否めない。

今大切なことは、厳しい状況にあって変革を余儀なくされている教育行政のあり方について、県民全体の課題として議論を重ねることであり、多くの県民が知恵を出し合い、希望の持てる教育のあり方が盛り込まれたプログラムを目指すべきである。

よって、県においては、「あきた教育新時代創成プログラム」の策定、実施に当たっては、県民各界・各層から構成された委員による審議会を設置し、県教育の将来像について議論をするとともに、審議会の意見を十分に反映させるよう強く要請するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成16年12月21日

秋田市議会

秋田県知事	寺田典城様
秋田県教育長	小野寺清様